

道の駅みやま公園の防災訓練に参加しました！



令和5年11月29日



11月16日（木）に行われた、道の駅みやま公園の防災訓練に参加しました。



道の駅みやま公園は
国道30号沿いにあります。



令和3年6月に「**防災道の駅**」に選定されてから初めての防災訓練となります。

Point! ▶ 防災道の駅制度とは？

都道府県の地域防災計画等で、**広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅**について、「**防災道の駅**」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための**重点的な支援を実施**するものです。

訓練は、道の駅を管理されている「みどりの館みやま」、玉野市公園緑化協会の方々や玉野市役所の方等と合同で行いました。



訓練の内容は以下の内容で行われました。



消火訓練



災害用トイレ設営



衛星電話発信



非常用電源の稼働

その他

まずは最初に消火訓練です。



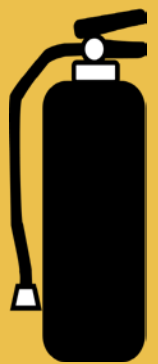


見事命中しました!

玉野市危機管理課の職員さんから、消火器での消火の際の**注意点**を教えてくださいました。

Point! ▶ 初期消火の際の注意点!


- 🔥 天井の高さまで火が迫っていたら消火器では消せません! **逃げる**こと!
- 🔥 火事を見つけたら必ず**助けを呼ぶ**!! → 次の行動に繋げる事が大事
- 🔥 消火器の届く距離は**3m~6m**程度。**10秒~15秒**で全部噴射される。**近づいてから噴射は開始する!**
- 🔥 もしもの時のために、火に近づく前に他の人に「**消火します!**」と**伝えることが重要**。
- 🔥 **出入口を背中**にして消火器を噴射する! 逃げ道を確認する事が大切!



訓練で使用したのは水ですが、実際には**リン酸アンモニウム**が噴射されます。

吸い込んでも**人体への影響はない**ということです。

10秒~15秒程度で全部噴射されるということで、**思ったよりすぐ無くなる**ようです。

次に場所を移動して災害用トイレの設置訓練です。 



この蓋の1つ1つが**災害用トイレ**です！マンホールや水道メーターのように見えます。

全部で14個トイレがあるそうです。その内の2個は多目的トイレということでした。

多目的トイレの鉄蓋



通常の災害用トイレの鉄蓋



災害用トイレの設置の流れ



まずは鉄蓋を取ります



鉄蓋を取り外します



イスの部分を取り付けます



テント部分を取り付けます



飛ばないように固定します



完成！！



個人用トイレは少し狭そうですが、中からちゃんと鍵も閉めることができます。



多目的トイレは車椅子でも余裕を持って使えそうです。広さに余裕があるので、子どもやお年寄りの方なども使いやすいですね。



中はどうなっというんだろう？

と気になったので覗いてみました。

中は大きな貯留槽となっていて全てが繋がっているようです。

当たり前ですが中には何もありませんでした。

地中の貯留槽のイメージ



貯 留 槽

次は衛星電話の発信訓練です。



実際に岡山国道事務所へ電話し、会話をしてみました。

無事に繋がりました。

実際の災害の際は、電話回線が不通の場合でも、連絡を取ることができます。



次は非常用電源の稼働訓練です。





**非常用電源を
起動します！**

当事務所の職員がボタンをポチッと押して

非常用発電機を稼働しました。

※実際の災害時は停電を感知すると自動で起動します！

災害時等の非常時に、道の駅や情報コーナーの電源として

利用することができます。

その他にも、「公衆電話やWiFi環境の確認」「非常時の備蓄倉庫の非常食や資機材の確認」

「ヘリポートスペースの確認」などを訓練で行いました。

緊急時に、迅速に行動が出来る様に、定期的に訓練や点検を行うことが大切だと感じました。



記事作成：計画課 A